# ボネコ ディスク型 気化式加湿器 ディスクエバポレーター

家庭用

型式番号 **1355WH**

# 取扱説明書

Made in Czech

## 特長

■ 自然な加湿――気化式

お部屋（空気）の乾燥具合に応じて適度の加湿を行いますので、加湿し過ぎることがありません。また、水をそのまま散布しないので、カルキなどで家具を傷める心配がありません。

■ お部屋の空気を浄化

加湿と同時に、空気を浄化します。空気中のタバコの煙や花粉などの微粒子は、濡れた加湿ディスクに付着し、水槽に取り込まれます。

■ 一日中（24時間）運転して、約8円

空気吸込み用のファンおよびディスクユニット回転用モーターの消費電力は、「強」運転時に15W/50Hz、12W/60Hz。一日中稼働しても約8円と、とても経済的です（1kW/h=22円として算出した場合）。

■ 約30畳のお部屋までOK

最大約30畳のお部屋までご利用になれます。

■ 水中の雑菌抑制システム『$Ag^+$』

水槽内にセットされたシルバースティックの銀イオンの作用により、水中の雑菌の繁殖を抑制します。また、放出される霧状の水分粒子は非常に小さいので、雑菌が水分粒子に取り込まれてお部屋に放出されることはありません。

■ ディスクユニットで経済的

ディスクユニットは、洗浄することで繰り返し使用できます。フィルター交換が不要のため、経済的です。

■ 給水お知らせランプ

水槽の水が少なくなると自動でモーターが止まります。電源ランプが赤色に点灯することで、水が少なくなっていることをお知らせします。

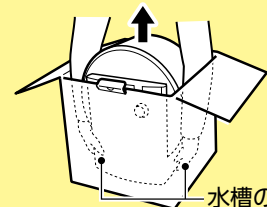
## Swiss Quality

この製品は、スイス・プラストン社により同社チェコ工場で製造されたものです。

このたびは、ボネコ気化式加湿器をお求めいただき、誠にありがとうございました。本製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

### もくじ



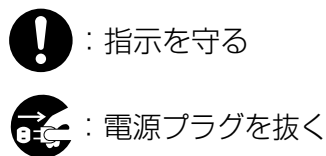
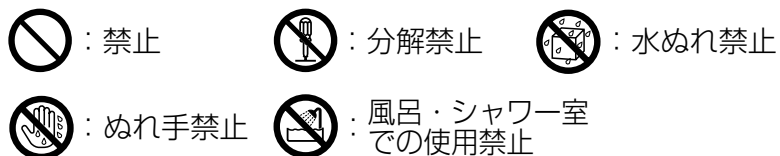
⚠ **注意** 箱から取り出すときは、必ず水槽の底を持って取り出してください。本体上部（カバー）だけ持って取り出そうとすると、水槽が外れてしまいます。

※4ページの開梱時の注意を参照。

# 安全上のご注意

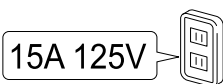
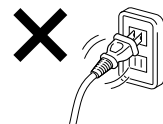
1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は､製品を正しく安全にお使いいただき､あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の2つに分け、明示しています。

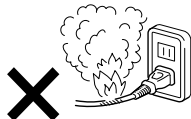
| ⚠ 警告 | ⚠ 注意 |
| --- | --- |
| この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

4. 各注意事項には、「禁止」、または「強制」を促す絵表示が付いています。

| この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 | この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |
| --- | --- |
| ：禁止　：分解禁止　：水ぬれ禁止 | ：指示を守る |
| ：ぬれ手禁止　：風呂・シャワー室での使用禁止 | ：電源プラグを抜く |

## ⚠ 警告

### 電源／コンセントについて

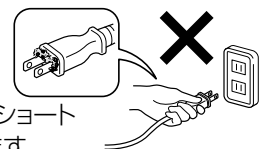
**電源は交流100V (50/60Hz)で「15A 125V」と記されているコンセントからとる**

**取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない**
取付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。

### 電源プラグ／電源コードについて

**変形･破損している電源プラグ／電源コードは絶対に使わない**
感電やショート、発火する恐れがあります。必ず､お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）に、交換を依頼してください。

**電源プラグ／電源コードを破損するようなことはしない**
電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。

**コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない**
たこ足配線などで、定格容量を超えると、発熱による火災の原因になります。

**電源プラグは、根元までしっかりと差し込む**
不完全な接続は､感電や発熱による火災の原因になります。

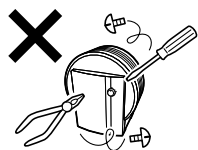
**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
感電する恐れがあります。

**電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く**
ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。

**動作中に電源プラグを抜き差ししない**
運転中に電源プラグの抜き差しをしないでください。感電･火災の原因になります。

**運転の際は電源コードを解き、余っても束ねない**
熱の逃げ場がなくなって高温になり､発火する恐れがあります。

**電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は電源を切り､電源プラグをコンセントから抜く**
運転中に電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は直ちに電源を切り（=運転中止）、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）にご相談ください。そのまま使用するとショートや発火する恐れがあります。

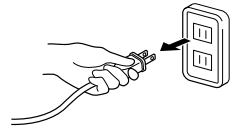
### 使用中／使用後について

**本製品を分解したり､改造をしない**
故障や発火の恐れがあります。

**お子様だけでは使わせない。幼児の手の届くところで使わない**
感電･けがの原因になります。

### 運転中について

**異常が生じた場合は、使用を中止する**
万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り（=運転中止）､電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると､事故や故障につながります。必ず､お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご連絡ください。

## お手入れについて

**お手入れの前に電源プラグをコンセントから抜く**
感電・ケガの原因になります。

# ⚠ 注意

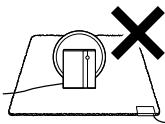
## 電源プラグ／電源コードについて

**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く**
電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。

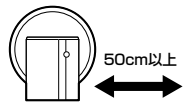
## 設置場所について

**屋外や湿気の多い場所(部屋)、浴室、特殊な環境で使わない**
ショートや感電の恐れがあります。また、硫黄などの硫化ガスが発生する場所や塩害の恐れのある場所で使用しないでください。故障の原因となります。

**平らで安定した場所に置いて使用する**
不安定な場所におくと、本製品が転倒し、けがや故障の原因となります。

**テレビ、ステレオ、電気カーペットなど電気製品の上で使用しない**
水がこぼれると故障や感電の危険があります。

**本体の両脇を家具などでふさがない**
両脇の送風孔をふさぐと、風(湿った空気)が部屋中に行き渡りません。家具などから50cm以上離して設置してください。

**ストーブなどの暖房器と併用する場合は離して置く**
故障の原因となります。

**就寝時に使用するときは、風が体に直接当たらない場所に置く**
身体が冷え過ぎて体調を損なう原因となります。

## 使用中／使用後について

**本体が転倒、落下したときには、使用せず、点検を依頼する**
感電・ケガの恐れがあります。万一、本体が転倒・落下してしまった場合は、直ちに電源を切り(=運転中止)、お求めの販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)までご連絡ください。

**小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添う**
運転中および運転していないときもお子様が加湿器のそばにいるときは大人の方が付き添ってください。

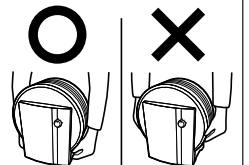
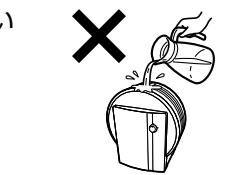
**長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く**
絶縁劣化による感電・漏電・火災を防ぐために抜いてください。

**本製品を、他の用途や屋外で使用しない**
この製品は、室内用の加湿器です。他の目的や屋外で使用すると、けがや故障の原因となります。

**空気吸込み口から絶対に給水しない**
故障や感電の原因となります。

**本製品に腰掛けたり、物を乗せない**
けがや故障の原因となります。

**タンクには水道水を入れる**
断水のあとや給水管の老朽化による赤水、または井戸水などを使用すると、故障の原因となります。

**持ち運ぶときは、水槽の底を持つ**
上部のカバーを持つと、水槽が落下し、故障の原因となります。

## 運転中について

**本体に水やジュースをこぼさない**
万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を中止します。その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)までご連絡ください。

## お手入れについて

**本体(カバー)や、電源コード、電源プラグを水につけたり、水洗いしない**
故障や感電の原因になります。

**クレンザー、シンナー、金たわしなどは使わない**

**塩素系・酸性およびアルカリ性洗剤は使用しない**

**一週間以上使用しない場合は、必ずタンクの水を捨てる**
水が入ったまま放置しておくと、異臭の原因となります。

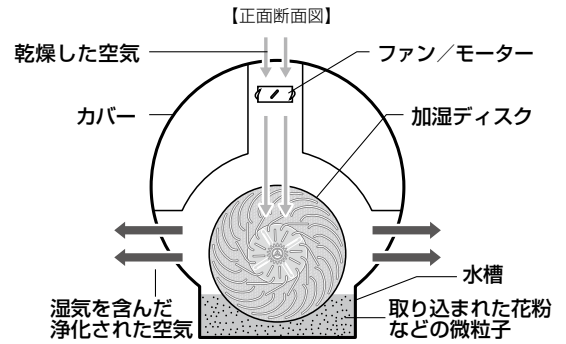
**シルバースティックの変色部分を紙ヤスリや金ブラシでこすらない**
抗菌効果が損なわれる原因となります。

**お手入れ後は、各部品をよく乾かしてから取り付ける**
各部品が乾いていない状態で組み立てると、故障の原因となります。

# 知っておいていただきたいこと

加湿の仕組みと主な特長をご理解いただき、本製品をより効果的にご使用ください。

## 加湿は“気化式”です

「湯気」や「霧」を強制的に発生させるのではなく、21枚の加湿ディスク(プラスチック製)を水で濡らし、お部屋(空気)の乾燥具合に応じて自然に加湿する＝気化原理に基づいた“気化式”の加湿器です。使用するお部屋の環境（室温・密閉性・空気の出入りなど）により多少異なりますが、常に最適なレベル（湿度50%前後）の加湿を行うことができます。

## 空気を浄化します

空気と共に吸い込まれたタバコの煙や花粉などの微粒子は、加湿ディスク（21枚）の間を通過する際にディスク表面の水に付着し、水槽に取り込まれ、水槽の底に沈殿します。そして、浄化された空気が室内に放出されます。なお、適正な湿度の（＝加湿不要の）室内では加湿が止まり、空気の浄化のみを行います。（下記データを参照）

> ⚠ **注意**　水槽に取り込まれた微粒子は底に沈殿しますので、「お手入れのしかた」（9ページ）を参照し、定期的にお手入れをしてください。

### ディスクエバポレーター 1355WHの微粒子／ガスの除去性能試験結果

（財団法人 北里環境科学センター調べ）データに関しては、デロンギ・ジャパン（株）までお問い合わせください。

#### ■ タバコの煙（粉塵）を用いた濃度測定結果

| 経過時間(分) | 0 | 30 | 60 | 90 | 120 | 150 | 180 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 粉塵濃度($mg/m^3$) | 4.17 | 4.17 | 4.17 | 3.76 | 2.83 | 1.91 | 1.49 |

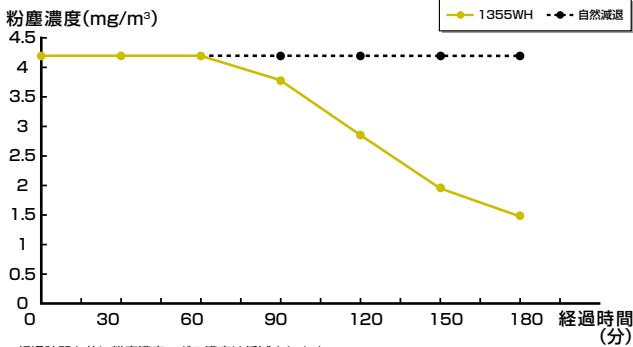
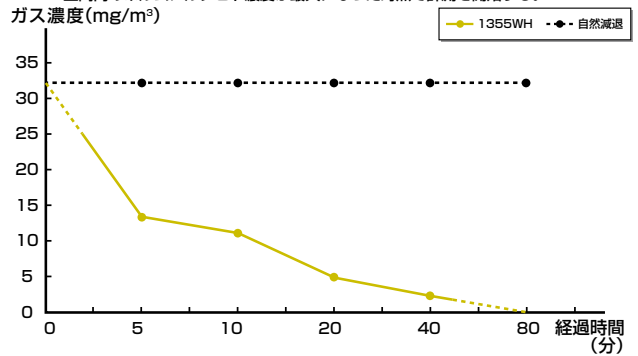
空気中の粉塵（タバコの煙）の除去能力テスト

【方法】タバコ（3本）の煙を約10分間ほど$1m^3$の空間内に充満させる。
燃え尽きた後に計測を開始する。

#### ■ ホルムアルデヒド（無色ガス）を用いた濃度測定結果

| 経過時間(分) | 0 | 5 | 10 | 20 | 40 | 80 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ガス濃度($mg/m^3$) | >32.5 | 13.2 | 11.7 | 4.9 | 2 | <0.05 |

空気中のホルムアルデヒド（無色ガス）の除去能力テスト

【方法】ホルムアルデヒドを$1m^3$の空間内に1分間に噴霧し、2分間拡散させる。
空間内のホルムアルデヒド濃度が最大になった時点で計測を開始する。

※経過時間と共に粉塵濃度・ガス濃度は低減されます。

## 水中の雑菌を抑制するシステムを採用しています『$Ag^+$』

水槽内にシルバースティックを設置し、銀イオンの抗菌作用で水中の雑菌の繁殖を抑制します。

**シルバースティックの抗菌性能試験結果**
（財団法人北里環境科学センター調べ）

| 試験菌名 | 抗菌効率 |
|---|---|
| レジオネラ菌 | 99.5 % |
| インフルエンザウィルス | 99.6 % |

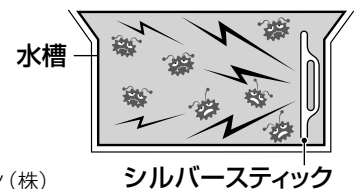
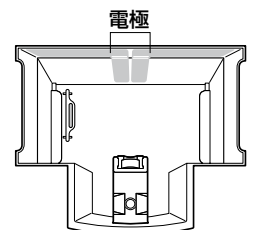
※データに関しては、デロンギジャパン（株）までお問い合わせください。

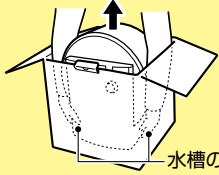
## 気化原理を利用した低消費電力設計です

水を気化するには“気化原理”を利用しますので、必要なエネルギー（消費電力）は、ファンとディスクユニットを回転させるモーター（定格：15/12W）だけです。従来のスチーム式加湿器（消費電力：250〜350W）と比較すると約1/20以下の電力です。

## 水槽の水が少なくなると自動でモーターが止まります

本機は、水槽内に取り付けた2本の電極に微弱電流を流すことで、水位をチェックしています。水槽内の水が少なくなると電気が通らなくなり、自動的にモーターが止まり、電源ランプが緑色から赤色に変わります。電源ランプが赤色に点灯している場合はいったん電源を切ってからタンクに給水してください。

電極

# 開梱時の注意

最初にご使用のときは、製品を箱から取り出し、まず以下の点を確認してください。

> ⚠ **注意**
>
> 箱から取り出すときは、必ず水槽の底を持って取り出してください。本体上部（カバー）だけ持って取り出そうとすると、水槽が外れてしまいます。

## 緩衝材(段ボール全3枚)を、必ず取り除いてください

ディスクユニット（加湿ディスク21枚）を輸送中の衝撃から守るため、カバーと水槽の内部に緩衝材として**段ボール(2枚)**が入っています。またディスクユニットの芯棒に小さな段ボールの緩衝材（★）がはさまっています。これらは、ご使用の前に必ず取り除いてください。取り除いた後は、水槽にディスクユニットを正しくしっかりと取り付け、カバーをしてください。

> ⚠ **注意**
>
> - 緩衝材を残した状態でご使用になりますと、ディスクユニットが回転できず、故障の原因となります。
> - 緩衝材には、ディスクユニットに塗布した保水剤が染み込んでいる場合があります。保水剤は植物性中性洗剤と同質なので、手などに付着した場合は水で洗い流してください。

カバー

ディスクユニット
※この向きで、水槽に取り付けてください。

緩衝材（段ボール）

（★）

水槽

【正面】

シルバースティック

【正面】

スティック固定部（水槽底部）

## シルバースティックが外れていたら…

水槽内底部に取り付けてある**シルバースティック（1本）**が輸送中に外れることがあります。外れていた場合は、所定の位置（右図参照）に取り付けてください。この時、シルバースティックの両端をスティック固定部にしっかりとはめ込んでください。

## シルバースティックの変色は、問題ありません

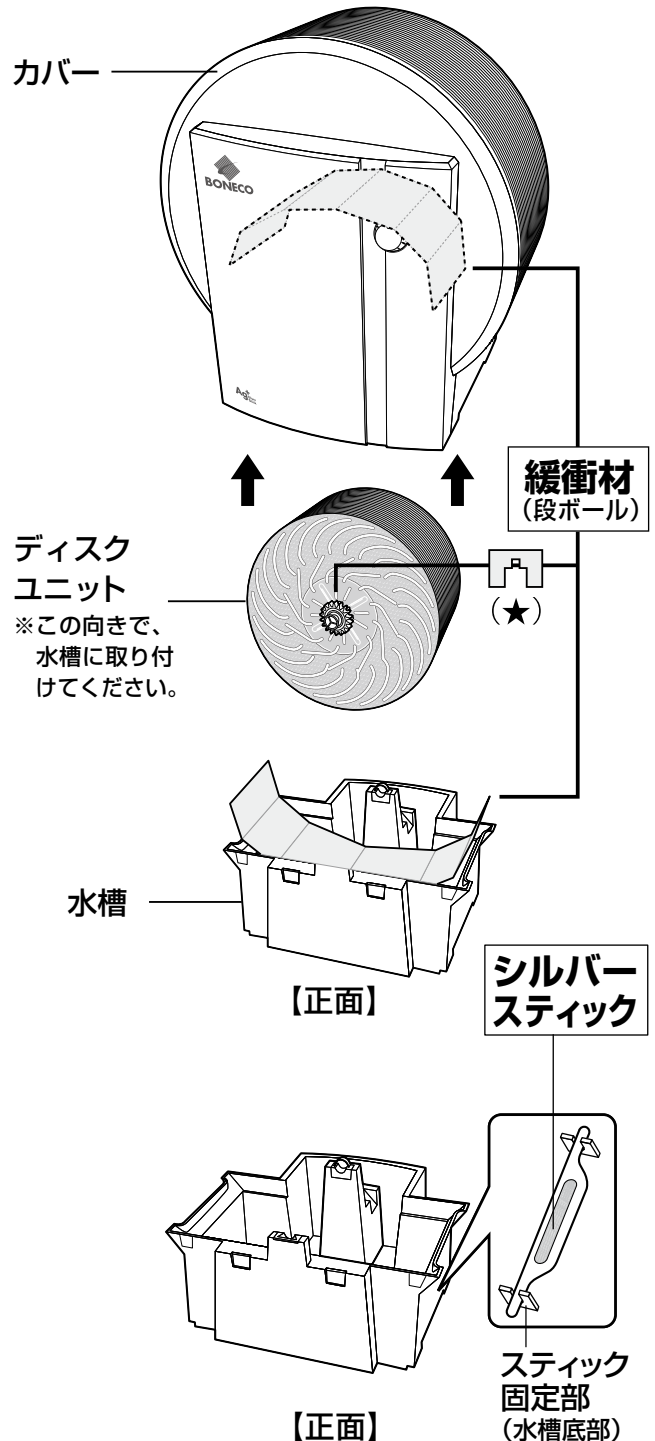
銀の特性でメッシュ部分がやや黒ずむ場合がありますが、性能／機能的に問題はありませんので、安心してご使用ください。

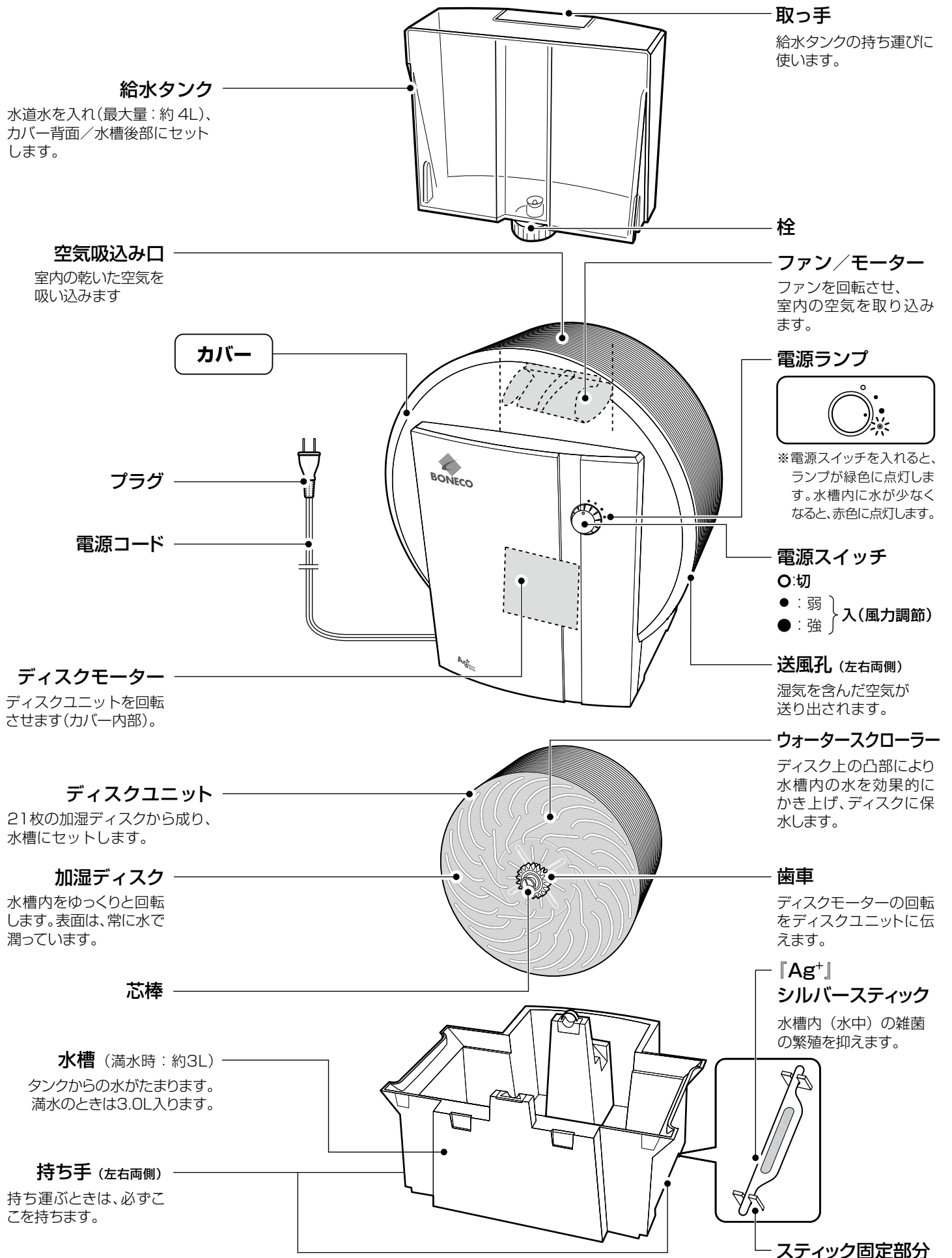
> ⚠ **注意**
>
> 変色部分を、紙ヤスリや金ブラシなどでこすり取らないでください。抗菌効果が損なわれる原因となります。

## 芳香剤(アロマオイル等)のご使用は、お止めください

水槽および給水タンクには、水道水（断水後や給水管の老朽化による赤水、または井戸水は不可）以外は入れないでください。芳香剤等を混入してご使用になりますと、製品（材質）が変色／変質して、故障の原因になります。

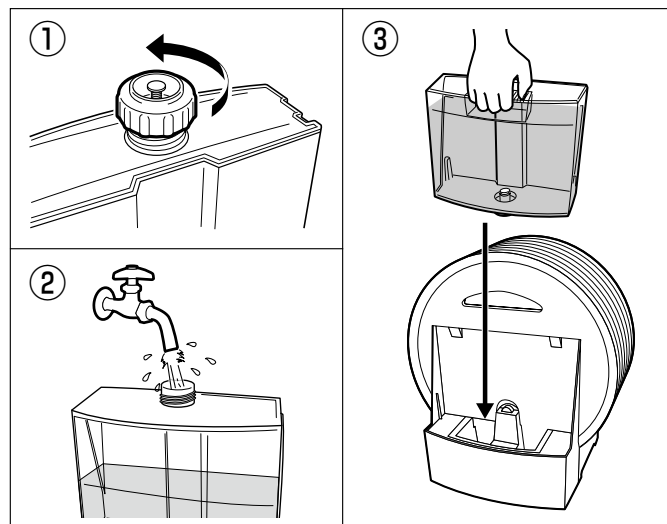
floral

AROMA

# 各部の名称とはたらき

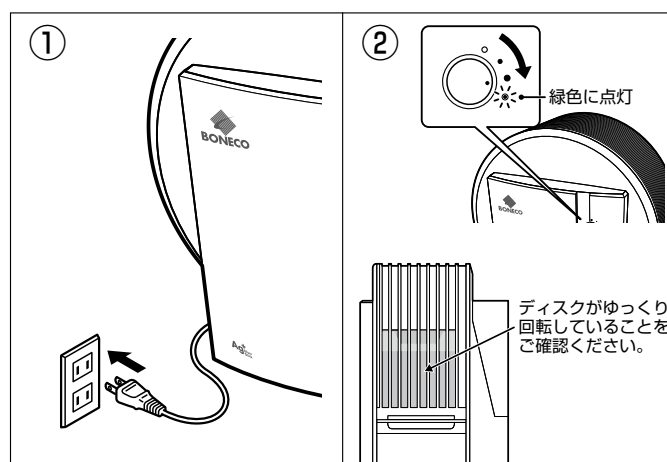
※必ず、カバーと水槽の内部から緩衝材（段ボール3枚）を取り除いてください（前ページ参照）。

# 使用手順

## 給水タンクを満水にして、セットする

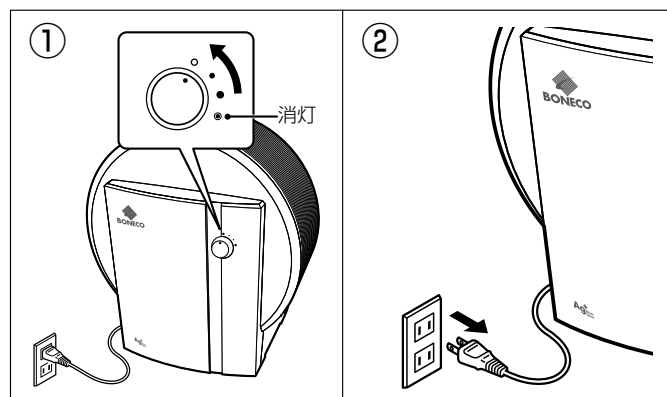
①給水タンクをカバーから外し、栓を開ける
②給水タンクに水道水を注ぐ（満水時：約4L）
③栓をしっかりと閉め､給水タンクをカバー背面にセットする
　給水タンクと水槽をともに満水にした場合（合計約7L）は､長時間（約22時間）の連続加湿が可能です。

> ⚠ **注意**　断水のあとや給水管の老朽化による赤水、または井戸水は使用しないでください。また、芳香（アロマ）剤は、使用しないでください。製品（材質）が変色／変質し、故障の原因になります。

## プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを入れる

①プラグをコンセントにしっかりと差し込む
②電源スイッチを●（弱）または●（強）にセットする
　スイッチ右横の電源ランプが緑色に点灯し、ファンとディスクユニットが回転して加湿が始まります。

> **ヒント**　
> 使用中はタンクの水量をチェックし、少なくなったら給水してください。なお、水槽の水が少なくなるとランプが赤色に点灯し、モーターが自動で停止します（3ページ参照）。

## 3 停止する／電源を切る

①電源スイッチを切る
　電源スイッチを○（切）に戻すと、電源ランプが消えてファンが止まります。
②プラグをコンセントから抜く

> ⚠ **注意**　1週間以上使用しない場合には、必ず水槽および給水タンクを空にして、次回は新しい水で加湿をしてください。

## 使用中のファン／モーター音について

本製品の構造上、使用中にモーターの回転音やファンの風きり音がわずかに発生します。就寝時や音に敏感な方は、以下の方法をお試しください。

1.使用／設置する場所を足元の方にできるだけ離す
2.電源スイッチ（風力調節兼用）を「●」（弱）にセットする

また、ファン／モーター以外の音がするときは、各部の組立や取付けが不完全な場合があります。「故障かな？ と思ったら」（10ページ）を参照してください。

ディスクエバポレーター 1355WHの騒音レベル試験（財団法人 日本品質保証機構 調べ）
●風力 弱（電源スイッチ「●」）…22〜30dB（A）録音スタジオの静けさ、木の葉の擦れ合う音
●風力 強（電源スイッチ「●」）…37〜39dB（A）ささやき声、夜の住宅街

※データに関しては、デロンギ・ジャパン（株）までお問い合わせください。

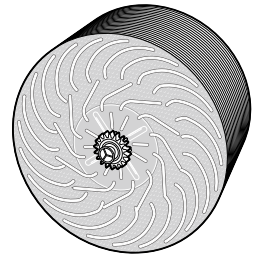
# お手入れのしかた

（お手入れは、定期的に行ってください）

## ⚠ お手入れをするときの注意点

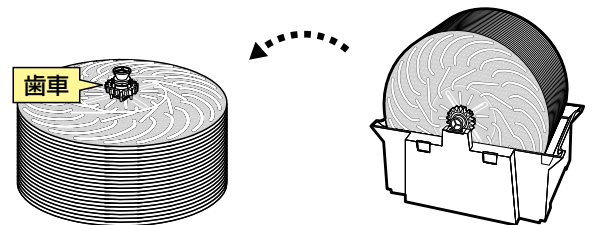
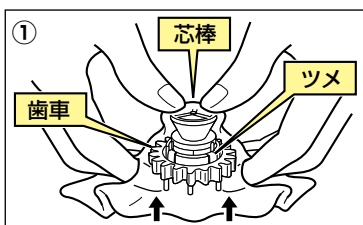
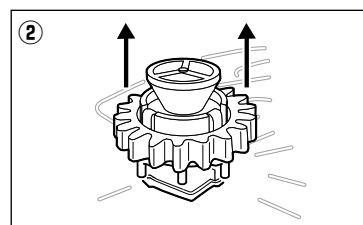
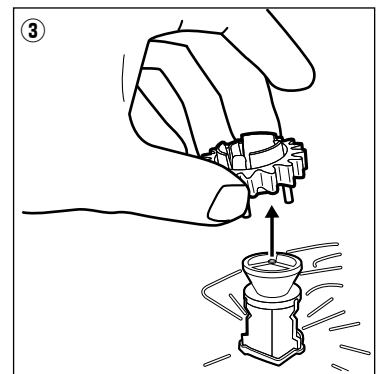
- 事前に、必ずプラグをコンセントから抜いてください。
- ディスクユニット（加湿ディスク）は、分解してお手入れをしてください。
- クレンザーやシンナー、ベンジン、金たわしなどは、使用しないでください。
- 食器洗い機・乾燥機は、使用しないでください。

ディスクユニット（加湿ディスク21枚）は分解し、汚れ具合によりますが、１ヶ月に1度〜1シーズンに1度を目安に、お手入れをしてください。柔らかいスポンジと台所用中性洗剤で水洗いします。落ちにくい汚れは、**酢3%の溶液**（ぬるま湯1L＋食用酢大サジ2杯）にしばらく浸し、スポンジで拭き取ります。後は、よくすすいでください。

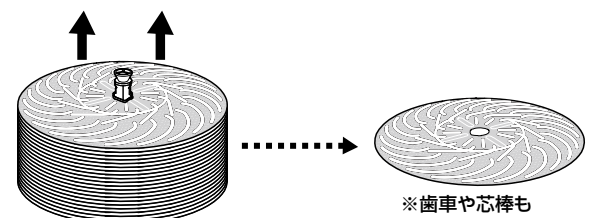
**簡単なお手入れ方法▶**クエン酸30gとぬるま湯2Lを水槽に入れて、溶かした後、ディスクユニットを水槽に取り付け、約2時間「強」で運転してください。その後、水槽とディスクユニットを水道水で洗い流してください。この際、必ず換気をしてください。クエン酸はお近くのスーパーや薬局でお買い求めください。また市販のクエン酸100%のポット洗浄剤でもお使いいただけます。

**ヒント**
- ディスクの白いくすみは、水に含まれる石灰分が付着したものです。石灰分が付くと、ディスクの表面積が増えて保水力が増し、加湿に有効ですので、完全に除去する必要はありません。
- 加湿ディスクに付着していた水の石灰分をきれいに取り除きますと、加湿能力がいったん下がりますが故障ではありません。1週間ほどの連続運転で加湿能力は元に戻ります。早めに加湿ディスクの保水力を上げるには、水槽の水に台所用中性洗剤を2〜3滴加えてください。
- しっかりと乾燥させてから収納してください。

## ディスクユニットの分解手順

### 1 ディスクユニットを水槽から取り外し、歯車を上にして置く

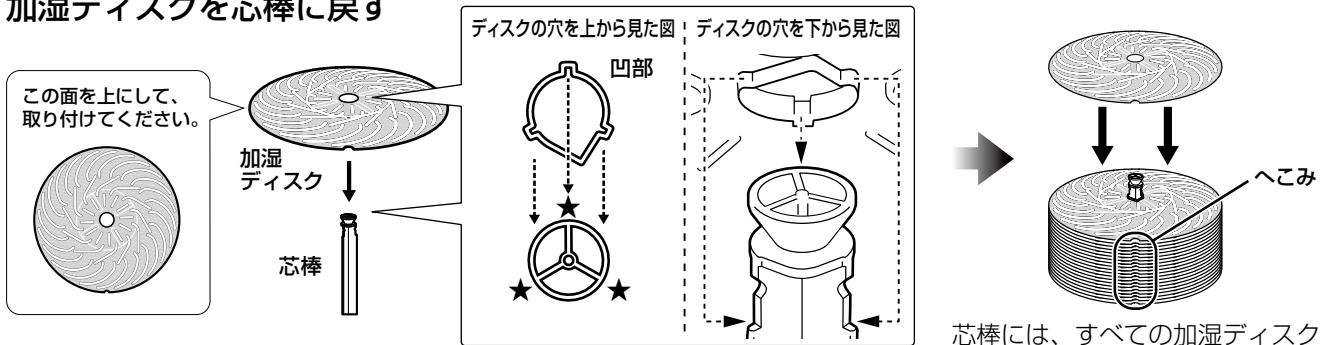
**⚠ 注意** お手入れ中、水によって手の表面がふやけてくるとディスクの端でけがをしやすくなりますので、ゴム手袋等の使用をおすすめします。

### 2 歯車を芯棒から外す

歯車に布をかぶせ、歯車に指をかけて押し上げます。

歯車が芯棒から外れるようになります。

歯車を芯棒から抜き取ります。

### 3 加湿ディスクを抜き取る

加湿ディスク（21枚）を芯棒から抜き取り、お手入れ（上記参照）をします。

※歯車や芯棒も水洗いできます。

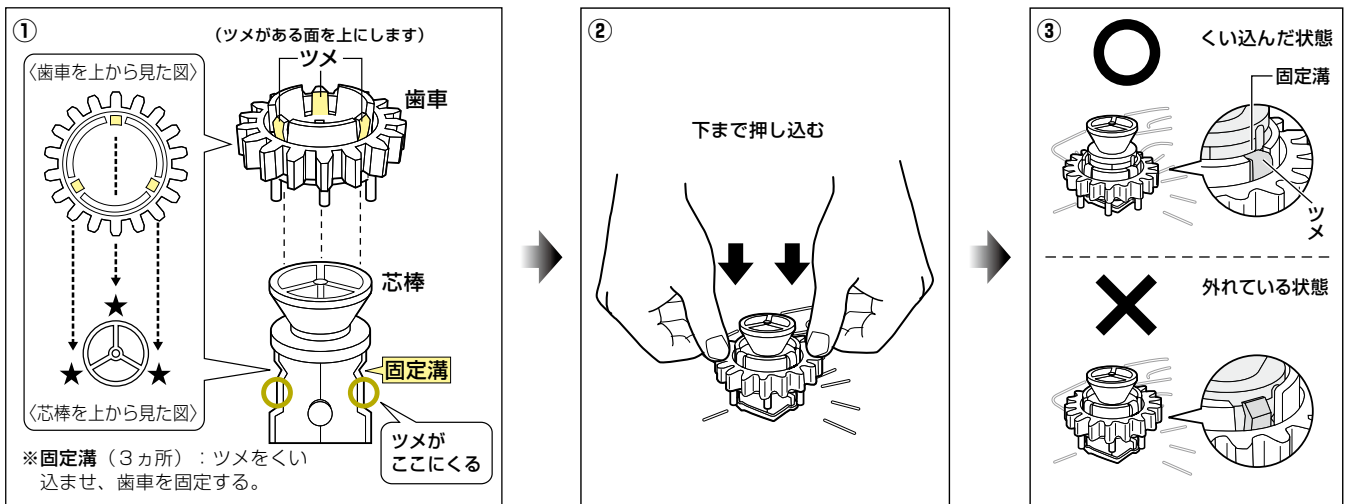
# お手入れのしかた（続き）

## ディスクユニットの組み立て手順

### 1 加湿ディスクを芯棒に戻す

加湿ディスク中央の穴の凹部（3ヵ所）と芯棒の目印の位置（★表示：3ヵ所）を合わせて取り付けます。このときウォータースクローラーが同じ向きになるようにしてください。

芯棒には、すべての加湿ディスク（21枚）を取り付けます。ディスクの縁のへこみが1列に揃っていることを確認してください。

### 2 芯棒に歯車を取り付ける

※ツメの色（黄色）は説明上のもので、実際とは異なります。

歯車のツメ（3ヵ所）と芯棒の目印の位置（★表示：3ヵ所）を合わせます。ズレると歯車を押し込むことができません。

歯車を芯棒に押し込みます。
止まる（＝固定する）まで押し込んでください。

歯車のツメが芯棒の固定溝（3ヵ所）にくい込んでいることを確認してください。

※組立て後、ディスクが回転しない場合は装着が不完全です。2 の手順をやり直してください。

## ⚠ ディスクユニット（加湿ディスク）のお手入れに関する注意点

- ディスクユニットの分解／組み立ての際は、加湿ディスクや歯車を破損しないようご注意ください。
- 歯車は正確に取り付けてください。取り付けが悪いと、使用時に異音がしたり、加湿ディスクがうまく回転しません。
- ディスクユニットは、表面のウォータースクローラーが同じ向きになるように取り付けてください。逆向きにすると、水槽の水がすくえません。
- 加湿ディスクの表面に付着した石灰分（カルキ）をきれいに取り除くと、一時的にディスクの保水力（＝加湿能力）が落ちますが、1週間ほどの連続使用（運転）で元に戻ります。

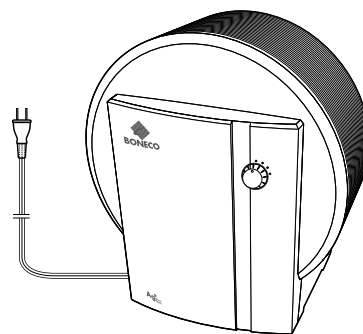
**ヒント**

早めにディスクの保水力を上げるには、水槽の水に台所用中性洗剤を2～3滴加えてください。

# お手入れのしかた（続き）

## カバー、プラグ／電源コード

乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布に少量のお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。

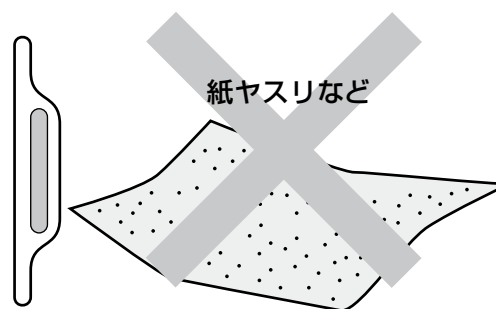
⚠ **注意** 空気吸込み口や電源スイッチなどに水をかけないでください。故障の原因になります。

## シルバースティック『Ag+』

水洗いできます

付着しているゴミやホコリなどは、水道水で洗い流してください。使用していくうちに銀の特性でメッシュ部分の銀が黒ずむ場合がありますが、性能に影響しません。なお、水槽のお手入れ（下記参照）前に、取り外してください。スティック固定部から上に向かって引き上げると外れます。

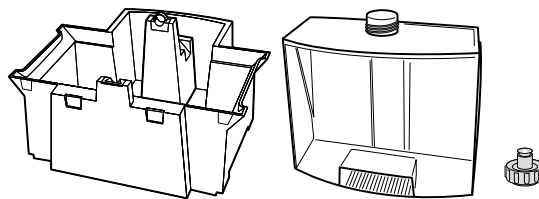
※シルバースティックの寿命（有効期間）は、使用環境により異なりますが、*5～6年（目安）です。期間を過ぎた場合は、本製品購入販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）まで、新しいシルバースティック（別売品）をお求めください。

＊毎年1シーズン（約4～5ヶ月）使用にて試算

⚠ **注意** 変色部分を、紙ヤスリや金ブラシなどでこすり取らないでください。抗菌効果が損なわれる原因となります。

## 水槽、給水タンク

水洗いできます

柔らかいスポンジと台所用中性洗剤を使って、水洗いしてください。水垢などの落ちにくい汚れは、**酢3%の溶液**（＝ぬるま湯1L＋食用酢大サジ2杯）にしばらく浸し、スポンジなどで拭き取ります。後は、よくすすいでください。

**ヒント** 本製品による空気の浄化効果により、水槽にはゴミやホコリ、花粉などの粒子が沈殿していますので、必ず定期的に（1週間に1度を目安に）お手入れが必要です。

## 保管する場合は…

お手入れ後、各部が完全に乾いて（不完全な場合、カビ等が発生する可能性があります）から組み立て、製品の入っていた元箱に戻し（またはカバーなどをして）、乾燥した場所に保管してください。

## 別売品のお求めについて

本製品購入販売店、または弊社サービスセンター（裏表紙参照）にてお求めください。

### ●シルバースティック

シルバースティックの寿命は約5～6年です。汚れ等が気になる方は、新しいものと交換してください。

型番　PL-SMSN

価格　3,360円（本体価格3,200円、消費税160円、送料別）

# 故障かな？ と思ったら　修理を依頼する前に、以下の点をお調べください。

使用中に異常が生じた場合は、直ちに電源スイッチを**O**（＝切）にして使用を中止し、以下の点をお調べください。それでも正常に機能しない時は、修理をご依頼ください（裏表紙参照）。ご自分での分解／修理／改造はおやめください。

| 状　態 | 考えられる原因 | 対処のしかた |
|---|---|---|
| 1.カバーが上下に動く | カバーおよび水槽内に、緩衝材の段ボール（2枚）が残っている | 緩衝材（段ボール:2枚）を取りのぞく<br>【水槽の底部】 水槽 シルバースティック スティック固定部<br>※詳しくは、4ページ「開梱時の注意」を参照してください。 |
| 2.ガタガタと音がする | | |
| 3.ディスクがこすれる音がする | 水槽内のシルバースティックが、外れかけている | |
| | ディスクユニットが、水槽に正しく取り付けられていない | 芯棒の両端を正しい位置にセットする<br>芯棒 ディスクユニット（加湿ディスク:21枚） 【正面】<br>（図は、ディスクユニットをセットした水槽の平面図で、下方向が正面になります。） |
| | 加湿ディスクが、きちんと組み立てられていない | 歯車をしっかりと芯棒にはめ込む<br>芯棒 加湿ディスク 歯車 【正面】 |
| 4.水が減らない（加湿されない） | ディスクの石灰分を全て取り除いた | ⇒ 1週間程の連続加湿で加湿能力が元に戻ります（7ページのヒント参照）。 |
| | 部屋の湿度が十分（目安:50%程度）で水分が気化しない | ⇒ 本製品は気化式の為、お部屋の空気中に十分な水分がある場合には水は減りません。 |
| | ディスクユニットが正しくセットされていない（回転しない） | ⇒ ディスクユニットの芯棒が水槽に正しくセットされているか確認してください。 |
| 5.水を満水にしても電源ランプが赤色に点灯する | 電極の接触不良 | ⇒ 本体上部（カバー）を再度水槽から取りはずし、電源コードなどをはさまないように水槽に取り付けます。 |
| 6.異臭がする | 水槽やディスクのお手入れが不十分 | ⇒ ディスクのお手入れをしてください（7～9ページ参照）。 |

**この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。**

**欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。**

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。

# 仕様

| 項目 | | 内容 |
|---|---|---|
| 製品名称／型式番号 | | ボネコディスク型気化式加湿器／1355WH |
| 定格 | 電圧／周波数 | 交流100V ／ 50/60Hz |
| | 消費電力 | 強：15W/12W、弱：8W/7W（50/60Hz） |
| 適用畳数 | | ～約30畳 |
| 加湿能力 | | 300ml ／時 |
| 外形寸法／質量 | | 幅380×奥行330×高さ425mm ／ 6.0kg |
| タンク・水槽の容量 | | 7L（給水タンク：4L、水槽：3L） |
| 付属品 | | シルバースティック×1（装着済み） |

# アフターサービスについて

BHI-90130

1)使用中に異常（★）が生じた場合は、ただちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。その後、10ページ「故障かな？」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）にご相談ください。

〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- **使用中、電源コードおよびプラグ、コンセントが異常に熱くなる**
- **本体に水などの液体をこぼした**
- **電源コード、プラグが変形／破損している**
- **本体に強い衝撃（転倒・落下）を与えた**
- **取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない**

2)万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に**1.お求め時期　2.製品名称と型式番号　3.故障の状況**――を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※宅配便を利用して弊社サービスセンター（下記参照）に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ（梱包箱）に同封してください。

※お送り先については、事前にお電話（下記参照）あるいはホームページ（http://support.delonghi.co.jp）にてご確認ください。

3)保証期間中（3年）は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。

4)補修用性能部品の保有期間について

弊社では、この加湿器の補修用性能部品について、最終輸入日を起点に6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5)真心点検のお薦め：長い期間ご使用いただくために、専門技術者による点検（お預かり）をお薦めします。点検の依頼および料金などにつきましては、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。

| ご購入年月日: | 年 | 月 | 日 |
|---|---|---|---|

6)デロンギ再資源化システムについて

ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

**送料について**：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となります。予めご了承ください。

**梱包について**：製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアーパッキンにくるんでください。

**※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。**

※お送り先については、事前にお電話あるいはホームページ（http://support.delonghi.co.jp）にてご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

**デロンギ・ジャパン サービスセンター**（受付時間　土、日、祝日を除く毎日　9:30～18:00）

● コールセンター

修理について………Tel. 0120-804-280
Tel. 0120-692-885
お問い合わせ………Tel. 0120-064-300
Tel. 0120-692-880
／ Fax. 045-450-3291

〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9　安田倉庫(株)内4号ビル

ホームページでのお問い合わせ（URL）――**http://support.delonghi.co.jp**

DeLonghi **デロンギ・ジャパン株式会社**

〒101-0044　東京都千代田区鍛治町1-5-6　第3大東ビル